

ドイツ オランダ

欧州における歴史的な商業施設の現況や 新規開発の次世代型SCから未来の街づくり戦略を学ぶ

当協会では、コロナ禍を経て2023年度より再開したショッピングセンター海外視察研修ツアーにおいて、約5年ぶりとなる欧州ツアーを開催します。欧州の都市における街づくりは持続可能性や公共交通機関の整備などを重視しながら、歴史的な建造物や文化・芸術施設などとも融合し、各都市の独自性や魅力を維持しつつ、近代的な都市機能の実現も図っています。

今回のツアーではドイツとオランダの各都市を対象とし、まずハンブルク市の広大な港湾地区における壮大な街づくり再開発プロジェクトかつシビックプライド型施設開発をテーマとした「ハーフェンシティ」「ウェストフィールド・ハンブルク」、ユトレヒト中央駅「ホーフ・カタライネ」の駅施設ジョイントの複合施設開発の現況、ハーグ市近接立地の荒廃化施設のリボーン「ウェストフィールド・モール・オブ・ネザーランド」、そしてロッテルダム市の歴史的商店街につながる新しい街づくり開発などを視察します。

今回の視察が、これからの街づくりを考えるうえでのヒントになれば幸いです。

ツアーのポイント

1. 欧州における計画的な商業施設開発の第1号とされるオランダ・ロッテルダムの「ラインバーン商店街」につながる新しい街づくり開発や、ユトレヒト中央駅「ホーフ・カタライネ」の現況、そして2024年10月オープン予定の壮大な街づくりと商業施設開発であるドイツ・ハンブルクの「ハーフェンシティ」「ウェストフィールド・ハンブルク」などを視察。街づくり計画と街づくりにおける商業のポジショニングや環境デザイン、コロナ後のリアル商業の魅力創造戦略などを学べます。
2. SCや商店街などを視察する学びの場だけではなく、ツアー内で開催するパーティーにて参加者同士の情報・意見交換の場としても活用いただけます。
3. 海外のSCに精通され、当協会「SC JAPAN TODAY」や「SC白書」での執筆、また「SCアカデミー」指導教授やセミナー講師も務められる小嶋彰氏のセミナー・視察同行により、より深い理解が得られます。
4. 視察以外に自由視察の時間も設け、各社各自の目的に沿った商業施設・建物・専門店などを視察・体験いただけます。
5. 国際線利用航空会社はKLMオランダ航空、宿泊先は視察に適した立地のホテルを利用します。



大人お一人様ご旅行代金

※SC協会会員の方。
※お一人様1室のご利用。

698,000円

ツイン2名1室ご希望の場合

※SC協会会員の方のみ、一般の方の設定はございません。
※人数等の都合でご希望に沿えない場合があります。

592,000円

※燃油特別付加運賃(目安79,000円)、日本国内空港施設使用料(13,550円)、国際観光旅客税(1,000円)、海外空港諸税(概算26,380円)が別途必要となります。(2024年9月13日現在)

【ドイツ／ハンブルク】

ハーフェンシティ&ウェストフィールド・ハンブルグ

ハンブルグ市都心部の南、旧港湾施設&工場地区の約157万㎡の再開発。中心施設は「ウェストフィールド・ハンブルグSC」でGLA:80,500㎡、テナント数は約200店舗。商業施設を中核とした街づくりプロジェクトで、商業施設はエンクローズド型SC+商店街プロムナード+飲食施設+エンターテイメント施設+広場である。商業以外の施設は大型クルーザーの停泊港&クルーズ・ターミナル施設、ミュージアムやコンサートホール等の文化施設、その他住宅、オフィス、ホテル、教育施設、駐車場、ハンブルグ都心とジョイントする地下鉄の駅開発等を含む大型ミクストユース開発である。

【オランダ／ユトレヒト】

ユトレヒト中央駅「ホーフ・カタライネ」

ユトレヒト中央駅を中核施設とし、商業+見本市会場+コンサートホール+市民広場+展示会場+オフィス+駐車場の大型ミクストユース開発である。1970年の施設開発からスタートし、1973年の商業施設第一次オープン、その後、諸施設が開発され、2012年、フランスの大手商業施設デベロッパー:クレピエール社が施設を買収、2013年より増床・リノベーションを推進し、2017年にグランドオープン、2018年ICSCヨーロッパのアワードを受賞したプロジェクトである。

【オランダ／ハーグ近接立地】

ウェストフィールド・モール・オブ・ネザーランド

オランダ・アムステルダム市の西、ハーグ市に近接の郊外立地、1973年開設のSCが荒廃化し、ユニボール・ロダムコ・ウェストフィールド社(URW社)が施設を買収し大リノベーションを推進、2021年3月18日にグランドオープンした。「リサレクション=生き返り、復活」の事例として取り上げられる施設である。GLA:125,000㎡、オランダ最大規模のSCであり、テナント数:268店舗、建物外装のユニークなデザインが特徴の施設。

【オランダ／ロッテルダム】

バースプライン／ラインバーン／フォーラム・ロッテルダム

バースプラインは、クールシングル大通りを中心とし、東西街区のジョイントを図る地下街を含めたプロムナード開発が行われた事例。GLA:約6万㎡、テナント:95店舗である。ラインバーンは、1953年オープン、バースプラインに近接した商店街プロムナードであり、ヨーロッパにおける計画的な商業施設開発の第1号と呼称される施設である。フォーラム・ロッテルダムは、2020年9月24日オープン、上記プロムナードに近接した立地のミクストユース開発である。GLA:64,000㎡、デベロッパーはMulti Netherlands社。

マルクトハレ

屋内食品市場(食品店:約100店舗、面積:バックヤードを含めて約12,000㎡)の施設、および上層フロアの住宅開発(分譲&賃貸)228戸の複合施設である。巨大な吹き抜け空間があり、天井部の野菜&果物のグラフィック絵画等、非常にユニークな建築デザインの施設。

【オランダ／アムステルダム】

中心市街地内の商業施設を視察します(基本的には自由視察)。マグナプラザ、カルファー通りの専門店プロムナード、バイエンコフ百貨店、アムステルダム中央駅などを巡ります。

ツアー事前説明会

日時: 2025年1月20日(月)14:30~17:30(受付14:00~)

会場: 日本ショッピングセンター協会 会議室

開催形式: 当協会会議室およびオンライン

内容: ①14:30~16:00 事前説明会「欧州流通事情(仮)」

②16:00~16:30 ツアースケジュールおよび注意事項

③16:30~17:30 懇親会または名刺交換会(会議室ご参加者のみ)

※時間・場所・内容等は変更になる場合がありますのでご了承ください

※詳細はツアー申込者にご案内します

コーディネーター紹介

小嶋 彰氏 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役

1975年(株)船場入社。1983年日米政府交換留学制度:フルブライト奨学制度にて渡米、1985年MBA取得。帰国後、台湾船場、船場シンガポール、タイ船場、船場アメリカの各現地法人を設立、初代社長に就任。同時に(株)船場の国内業務として管理本部人事担当やSC総合開発研究所所長、総合開発本部部長を担当、その後、同社取締役・企画開発担当に就任。2010年4月、同社の顧問就任および商業施設開発・管理運営の教育指導やコンサルテーションを主業務とする「(株)フロンティアリテール研究所」を設立し、代表取締役社長に就任。コロナ前は年間平均約7回、海外商業施設の視察研修コーディネーターとして業界の人々の指導にあたる。また、各企業、業界団体にてSC開発運営に関わる研究指導、講演および記事執筆を行う。

【主な著書】『スペースブランディング』(商業界/2010年5月)

日 程 表

日次	月日(曜日)	訪問地	交通機関	スケジュール	食事
1	2025年 2/4 (火)	成田(東京)発 アムステルダム着 アムステルダム発 ハンブルク着	KL862 KL1759 専用車	11:00: 成田空港集合 13:35: 空路、KLMオランダ航空にてアムステルダム経由でハンブルクへ 19:35: アムステルダム着 20:40: アムステルダム発(乗り継ぎ) 21:45: 着後、専用車にてホテルへ 【ハンブルク泊】	昼:— 機内:2回
2	2/5 (水)	ハンブルク	専用車	終 日: 商業施設視察 午 前: ●ハーフェンシティ ●ウェストフィールド・ハンブルク ●ハーフェンシティ周辺視察 午 後: ●ハンブルク都心地区内視察 【ハンブルク泊】	朝:○ 昼:— 夕:—
3	2/6 (木)	ハンブルク発 アムステルダム着 ユトレヒト	KL1752 専用車	早 朝: 専用車にて空港へ 08:25: 空路、アムステルダムへ 09:35: 着後、専用車で商業施設視察へ ●アムステルダム市内視察(自由視察) マグナプラザ、カルファー通りの専門店プロムナード、バイエンコフ百貨店、 アムステルダム中央駅など ●ユトレヒト中央駅「ホーフ・カタライネ」 【アムステルダム泊】	朝:○ 昼:— 夕:—
4	2/7 (金)	アムステルダム発 ハーグ ロッテルダム アムステルダム	専用車	終 日: 商業施設視察 ●ウェストフィールド・モール・オブ・ネザーランド ●パースプライン ●ラインバーン ●フォーラム・ロッテルダム 夜 : ☆日本ショッピングセンター協会主催フェアウェルパーティー 【アムステルダム泊】	朝:○ 昼:— 夕:○
5	2/8 (土)	アムステルダム発	専用車 KL861	午 前: 専用車にて、アムステルダム空港へ 14:25: 空路、KLMオランダ航空にて日本へ 【機内泊】	朝:○ 昼:— 機内:2回
6	2/9 (日)	成田(東京)着		11:45: 成田空港到着後、入国審査・通関後、解散	

※記載例: [KL] = KLMオランダ航空

※記載例: 「朝」=朝食、「昼」=昼食、「夕」=夕食、「機内」=機内食、「—」=食事なし

※記載例: ●=商業施設(下車)

※視察先ならびに交通機関・時刻は変更になる場合がございます



